

提出 順番	No. 5	令和 4 年 8 月 26 日 (午前) 午後 8 時 45 分受領
----------	----------	---------------------------------------

令和 4 年 8 月 26 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 中橋 友子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
「町民・事業者・行政」 が一体となり、脱炭素 社会の推進を。	<p>今年も、全国各地で降水量が観測史上最高を記録する大雨災害が発生しています。発生頻度も高く、温暖化現象はもはや気候危機の状況に立ち至ったと言える状況です。2021年、COP26で合意された2050年までに温室効果ガスの排出量を吸収量と均衡させ、ゼロにするカーボンニュートラル社会の実現は必須の課題です。</p> <p>幕別町でも地方公共団体実行計画の策定に向けて取り組みが開始されています。脱炭素社会実現のためには、二酸化炭素の排出量を削減する省エネルギーと、再生可能エネルギーの導入が要になります。</p> <p>町民全体が共通の認識を持ち計画の推進に当たるためには、計画策定の早い段階からの町民参加が必要です。以下、具体的課題について伺います。</p> <p>1 二酸化炭素排出量削減の一環として、ごみ処理の基本的な考えを、現在の焼却から資源化に切り替えてはどうか。現在の在り方では、2050年になってもごみを燃やし続け、二酸化炭素を排出し続けることになる。くりりんセンターに持ち込むごみの量を少しでも削減し、焼却の量を減らし、資源を生かす循環型にすることが求められるがどうか。</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>2 再生可能エネルギーの普及について</p> <p>(1) 2016年度から家畜糞尿利用のバイオガスプラント建設の検討がされてきたが、専門家や酪農家との協議は中断しているのか。送電線や売電価格の課題が示されてきたが、可能性は見いだせないのか。これまでの経過と課題は。</p> <p>自然環境を守るうえでも、エネルギーの自給のためにも必要な事業であり、実現に向けての考えは。</p> <p>(2) 太陽光発電の普及促進のため、個人住宅設置と蓄電池に補助政策を実施してはどうか。</p> <p>3 環境省の地球温暖化対策計画は2030年までに温室効果ガスを2013年度から46%削減、さらに2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする目標である。達成のためには「町民・事業者・行政」が一体で取り組まなければ実現できません。講座などの学習の機会をつくり、計画策定段階から、町民参加で進めるべきではないか。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。